

令和4年度 各係における教育活動重点目標・評価

1 教務係

【今年度の重点目標】

①	新しい学力を踏まえ、生徒の学力向上を目指す。
②	校務が円滑に行えるように計画・立案する。
③	ICTを活用した生徒の出席状況の把握と先行指導
④	生徒の豊かな人格形成を助ける。
⑤	入試広報係協力しての生徒募集活動

【評価 A：十分 B：おおむねよい C：不十分】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	教科シラバスによる計画的授業と定期考査の改善。新課程シラバスの作成と、観点別学習評価に合わせた定期考査の研究。	計画的な授業が展開でき、学習内容の定着が確認できたか。シラバスや定期考査について新課程に合わせた研究が進められたか。	B	各教科ともシラバスに基づいた授業を展開している。新課程のシラバスも作成されたので定着させていきたい。定期考査についても科目数等の検討を行った。
①②	授業アンケートを実施し、その結果を利用した授業改善を促す。	授業評価を実施し、各教科の授業改善の推進を促すことに努められたか。	B	年2回の授業アンケートを実施し、その結果を教科会で検討した。また、タブレットの使用についてもアンケートを実施。次年度に向け活用する。
①	実力テストの結果の有効利用と、効果的な学習活動につながるよう研究する。新課程については、小テストや振り返りシート等とともに評価に組み込めるよう研究する。	実力テスト自体やその活用について検討できたか。適切な準備・後処理が出来たか。新課程における評価の扱いについて研究を進められたか。	A	実力テストの準備、後処理は適切に行えた。また、次年度から実力テストの結果も観点別評価に組み込む方向で検討している。新課程の観点別評価については、各教科の今年での実施状況や情報を集約し、次年度で方針をまとめる。
①②	授業時数の確保	年間計画にのっとり授業時間が確保できたか。コロナウィルス感染拡大等、不測の事態に対応できたか。	A	コロナウィルスの感染が拡大状況にあり、振替試験は実施したが、休校等の大きな変更はなく授業時間を確保できた。
①②	試験時間割・監督・事後指導の日程調整	計画的な試験対策勉強が出来る環境を作れたか。また、丁寧な事後指導を行えたか。	A	計画通りに実施できた。試験範囲の連絡時期を統一して早めるなど、より良い環境についても引き続き検討していく。
①②③	適切な年間計画の作成	年間の様々な行事を適切に配置し、生徒の豊かな人格形成の手助けとなったか。	B	今年度はコロナウィルスの感染拡大状況の中でも計画に沿って進められた。新課程に伴う新たに設置したなものについては、

				単学年のみの行事は設置しないことが望ましい。
①②	学校自己評価	学校自己評価をとりまとめ、外部に公表できたか。	A	学校自己評価をとりまとめ、ホームページをとおして公表する。
②	校内・校外研修、相互授業見学等、新しい研修制度の実施	新たな研修制度を実施・運用し、教員の知識・技術の向上、また生徒への反映に寄与できたか。	A	今年度より、実際の教育活動に活かせることを目的とした研修制度を導入した。また、SDGs やアプリなどの研修も追加で行った。
③④	生徒の出席状況の把握と先行指導	毎日の出席状況や1/6、1/5 オーバーした生徒を、個人カルテの徹底など通して把握し、適切な対応を行えたか。	A	年度途中から、欠課オーバーの連絡に個人カルテを活用する方法に変更した。成績会議での確認にも組み込まれ、より正確な把握につながった。
②④	Classi の有効活用の研究	保護者との円滑な連絡や、生徒の活動計画、記録として活用を研究できたか。	A	今年度より担任(顧問)と保護者間の連絡用に使用。他の連絡手段と棲み分けをすることで利便性の向上と緊急時のための複線化を確保した。
②	各種奨学金を生徒に紹介し、奨学金の受給を広げる	一覧表の配布や説明会を実施し、奨学金を生徒に紹介できたか。	A	学生支援機構の説明など円滑に遂行した。
②	働き方改革への取り組み	未来を展望し、新たに取り組むべきことを導入する余地を生み出すという前提に立って、業務の見直しを図れたか。	B	保護者懇談会期間を3時間授業に変更、年間総括に年間計画要素を入れることで、年度初めの多忙期の会議や、その準備等の負担を軽減できた。今後も、係としての継続的な検討が必要。
⑤	入試広報係と協力して入試業務を行う。	円滑に行えたか。(入試説明会・中学校訪問など)	A	計画通りに実施している。

2. 進路指導係

【今年度の重点目標】

①	講演会やキャリアガイダンス等を通して進路に対して目的意識を育むとともに、主体的な進路実現を支援する。 「e-Portfolio」に代わるもの「大学入学共通テスト」「高校生のための学びの基礎診断」への情報収集を行うとともに、進路実現に有効に働くよう検討する。
②	多岐にわたる進路における情報を適宜提供することにより、早い段階での進路意識の向上を図り、担任団の進路指導の援助を行うとともに、生徒の面接指導やプレゼンテーション指導等を支援する。
③	基礎学力の向上に意欲を持てるよう、各種補習や模擬試験への取り組みを充実させ、進路実現に向けた学力の向上を図り、希望進路の実現を支援する。

【評価】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	三年間を見据えたキャリア教育を計画し、主体的な進路選択に向けた支援を行う。	各学年の段階に応じたガイダンスや講演会を、計画的に実施できたか。	A	ビックハットで行われた進路ガイダンスに2年生全員と3年生希望者参加。大学出前授業・大学キャンパス見学の実施。2月にキャリアガイダンスを2学年で実施。
①	就職希望者を主とし職業体験の場を提供し、生徒の職業理解を深めさせる。	看護体験や事業所見学の希望者に対し、事前に趣旨や意義を指導できたか。	A	1・2年生を対象にジュニアインターンシップや福祉の職場体験を実施した。3年生の看護体験では感染症の状況で中止になった。
②	生徒の進路意識状況を定期的に把握し、適切な進路情報を提供しアドバイスする。	生徒の進路意識に見合った進路情報を提供し、進路相談を行なえたか。	A	classi を利用し、進路先希望アンケートを取るなど有効活用している。8月実施：大学短大 77.9：専門 16.9：就職 1.9：その他 3.3
③	生徒の学習の場を確保し、希望進路実現に向けた学力の向上を図る。	キャリアセンターやスタディホールの有効活用ができたか。	A	コロナウィルスの影響で休日の自習室利用は制限せざるを得ない状況があった。
② ③	生徒の成績の把握・分析を行い、状況に見合う進路指導を行う。	Highschool オンラインを活用し生徒の指導を行えたか。	A	模試ごとに進路検討会を行い、過去のデータや他校のデータと比較し把握分析に務めている。
③	研修会への参加及び校内での情報共有を行ない、職員間での共通理解を持つ。	教員の使用環境を整え、入試に問題なく活用する状況をつくることのできたか。	A	オンラインでの研究協議会や大学入試説明会など、積極的に参加している。Teams を利用し研修会の情報を PDF で共有している。

3. 生徒指導係

【今年度の重点目標】

①	制服を正しく美しく着させる
②	インターネット利用に関する指導を充実させる
③	自転車の安全運転を徹底させる
④	電車内のマナー向上と安全な登下校
⑤	いじめの予防、早期発見、早期対応

【評価】

重点目標	評価項目	評価の観点	実施事項と今後の課題	評価
①	シャツの第一ボタンまで締めさせる指導	シャツの第一ボタンを締めさせる指導を徹底できたか	服装・身なりの基本や制服チェックという掲示物を各教室に配布・掲示し、正しい制服の着方を周知した。また、保護者用通知を作成し、校則や制服への理解を求めた。学年が上がるごとに服装の乱れが見られ	B

	女子生徒のスカート丈	正常なスカート丈で履けているか	る傾向は例年のようにあるが、大多数の生徒については正しく着用しなければいけないという意識を持つようになり、そうした風紀になりつつある。精神的な問題等を抱えた生徒は、どうしても服装が乱れる傾向にあるが、継続して粘り強い指導が必要と感じる。	
②	校内スマートフォン使用ルール徹底 生徒指導だよりや講話等を利用した啓蒙活動	他係と連携。利用ルールが守られていたか SNS関連の問題行動やトラブルが減ったか	校内スマホルールについては定着したと感じる。1学年において1学期にSNS問題が複数件発生したが、HR等を通じて啓蒙活動を実施。2学期以降は表面化しなくなった。また、生徒指導便りにてSNS利用について発信。リスクを十分周知し問題をある程度抑制できたと評価できる。	A
③	生徒指導だよりや講話を利用した啓蒙活動 通学路自転車指導	運転マナーが向上したか 事故の件数	1学年対象に上田警察署交通安全課担当者の講話を4月に実施した。上小管内でも高校生の自転車事故が多発しているため、入学時に実施することに一定の意味はあると感じる。本校生徒においても3件の事故があったが、いずれも大事には至らず。また危険個所での立ち番、通学指導を実施した。	A
④	生徒指導だよりによる啓蒙活動 列車乗車指導・駅見回り通学路指導	乗車マナーが向上したか	係としての列車乗車指導を2年ぶりに実施。コロナの影響もあると思うが、会話する者はほとんどおらず、その他の大きな問題もなく、マナー良く乗車していた。乗車マナーに関するクレームもない。生徒指導委員会での見回りも実施したが、問題なかった。駅員さんの話でも、マナーがいいと評価していただいた。	A
⑤	生徒指導だよりや講話による啓蒙活動 いじめアンケートの活用、他分掌との連携	いじめを未然に防げたか 適切な対応ができたか	いじめアンケートから出てきた案件について、適切に指導することができた(現在進行形のものではなく、過去の件に関する記載)。現在、いじめは積極的に認知していき、適切な対応の方を求められている。従って、生徒が声を上げやすい環境や人間関係の構築が重要となっている。今後も早期発見、早期対応に努め、アンケートの継続と啓蒙活動を実施したい。	A

4. 生徒会係

【今年度の重点目標】

①	生徒会総合本部役員のリダーシップの下、伝統を大切にしながらもコロナ禍という変化の激しい社会状況を受けて、その状況に合わせながらも新しい文化を創造する力を身に付けさせる。
②	役員会・クラブ・クラス・委員会など様々な生徒集団の中で、課題の発見から課題解決に至る道筋を見通し実行する力を育成することを通じて自立と自治の力をつけさせ、民主的な人格形成を目指す。
③	他校、地域、保護者などに対して開かれた活動を生み出し、社会性を身につけさせる。

【評価】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題
①	本部役員企画力・行動力を育み、リーダー集団として成長させる。	予餞会・西高祭など各種行事を主催・運営することにより、自らの組織力や行動力を高められたか。	A	西高祭・予餞会等の行事の運営に関して、生徒会役員としてよく全校を引っ張ることができた。
①	太鼓の伝統を引き継ぐ。	太鼓の伝統的な指導を受け継ぎ、太鼓を通して団結力や精神面を鍛えられたか。	A	太鼓の伝統をしっかりと引き継ぐことができている。しかし、一方で、諸事情で太鼓に参加しない役員もおり、今後の太鼓の在り方の検討も必要かもしれない。
②	上田西高校の学習文化の創設を図る。	第3回、4回の上田西高校学びプロジェクトを通じて、西高生の学びの文化を創り出せたか。	B	第3回は、3年生が、第4回は2年生が企画し運営できた。しかし、講座の参加者がうまくあつまらない、探究の課題とうまくリンクしないなど、今後の発展の余地はあると考える。
②	話し合いを通して、協力体制をつくる力を身につけさせる。	各委員会の活動・生徒総会や各行事の企画・立案などを通して、課題解決のための討議・実践・総括のプロセスを身につけられたか。	B	役員会では、話し合いを基本とし運営で来ていた。しかし、委員会活動や生徒総会では少し形骸化しているところも見られる。意図的に話し合いの場を仕組むことも今後大切になると考える。
①	新しい西高文化の創造をはかる。	コロナ禍の状況に合わせた新しい文化祭の形を模索し実現することができたか。	A	コロナの状況をよく見ながら、それに合わせる形での文化祭や各種イベントが実施できた。
②	集団指導体制を通して豊かな資質を育む。	各行事を通して、学年・クラスを越えた生徒・教員の交流を図り、豊かな人間性を身につけられたか。	A	クラスマッチでははじめ他学年の枠を超えたチームを作り、応援を通じて学年を超えたつながりができた。
③	他校や地域との交流を深める。	他校との交流や地域的な活動を通して、他から学ぶ力や社会性を豊かにする	A	高文連文化祭交流会や上小文化祭ガイダンスに参加し交流した。また今年度は、他校の生徒

		ことができたか。		会とも積極的に交流し、自分たちとは異なる生徒会の様子を間近に感じることができた。
--	--	----------	--	--

5. 防災整備係

【今年度重点目標】

①	管理箇所の点検や防災の推進を図る。
②	年間を通して校舎内外の整美と美化に務める。
③	全校生徒、職員による清掃活動を徹底する。
④	学習環境や地球環境の保護意識を高める

【評価】

重点目標	評価項目	評価の観点	評価	成果と来年度に向けての課題
①	分担箇所の管理	破損箇所の発見・修理 箇所の点検・管理箇所の安全確保。	B	教室の壁への落書きが目立ったが、指導し改善を計れた。掃除箇所の清掃備品が返却されない件数が多数あり。次年度備品整理を実施する。
①	防災意識の啓発とそなえ	生徒の防災に対する意識の啓発と、迅速な防災訓練の実施。	A	コロナ過によりオンライン防災訓練を実施。充実度が増した。避難経路の新構築を検討中。
②③	通学路清掃の推進	各クラスで積極的かつ活発な清掃活動を実施(整美委員会が中心になって行う)。	A	各クラスが協力してくれ、通学路清掃が実施された。学校見学前などに生徒会が中心となり施設の美化を計れた。
③④	ゴミ分別の徹底	ゴミ分別が環境に与える影響を理解させ、身近な学習環境から大きく地球環境までを保護する意識を育成・職員の分別作業への参画。	A	各 HR 教室中心に分別がされていた。寮生のゴミ分別も徐々に改善傾向にある。寮生の退寮時の清掃について改善していく必要がある。 寮内にゴミ集積所を設け対応した。